

セミナー概要

開催日: 2011年7月30日(土)～31日(日)



中津文化会館 大ホール (大分県中津市豊田町14番地38号 TEL.0979-24-1155)

交通

- 車でお越しの場合
〈福岡・熊本方面から〉大分自動車道 日田IC から約66分
〈大分・宮崎方面から〉宇佐・別府道路 終点 から約30分
- 鉄道でお越しの場合
日豊本線中津駅下車 徒歩約5分

定員

800人

参加費

6,000円

お問い合わせ先

中津発 地域福祉セミナー実行委員会

〈事務局〉全国コミュニティライフサポートセンター(CLC中日本) 〈担当〉島田・佐藤

〒465-0093 愛知県名古屋市名東区一社2-16-103
TEL:022-727-8736(転送) FAX:052-702-7587
URL: <http://www.clc-japan.com>

中津発

第7回 地域密着型福祉全国セミナー ～よろうち生きる 福祉の里づくりのススメ～

「よろうち」とは…

中津弁で、「寄り合う」という意味が含まれている言葉。
一人ひとりが寄り合う
住民の関係づくりの大切さとともに、
各関係機関・関係者が
横につながり顔を合わせる
「寄り合い」の意味が大切と考え、
今回のセミナー開催において
この言葉に想いを込めました。



高齢者・障がい者・子ども・子育て中の人…
24時間のサイクルのなかで多様な人が
安心して生活できるための地域とは何か?
住民・事業所・社協・行政が対等な場で、
横につながりながら、
「協働」でつくる地域について
考えるセミナーです。



とき **2011年7月30日(土)～31日(日)**

会場 **中津文化会館 大ホール ほか**

主催: 中津発 地域福祉セミナー実行委員会

共催: 中津市/中津市社会福祉協議会/全国コミュニティライフサポートセンター(CLC)

後援: 大分県/大分県社会福祉協議会/大分県社会福祉施設経営者協議会/
大分県老人福祉施設協議会/大分県身体障害児・者施設協議会/大分県授産施設協議会/
大分県児童養護施設協議会/大分県知的障害者施設協議会/大分県薬剤師会

開催趣旨

高齢者・障がい者・子ども・子育て中の人・そのほか何らかの不安を抱えながら生活をしている人など、多様な人が安心して生活できるための地域福祉の推進には、これらの人の地域社会での存在価値を尊重することと同時に、24時間のサイクルの中で安心して生活するための要素は何かを明確にすることが必要です。そのためには住民・事業所・社協・行政が対等な場で横につながり、考え合うことが必要です。今回のテーマにある「よろうち」には、「寄り合う」という意味が含まれており、一人ひとりが寄り合う住民の関係づくりの大切さに加え、各関係機関・関係者が横に繋がるために顔を合わせる「寄り合い」の意味を込め、一人ひとりの“生活”に視点をあて、生活状況・世帯構成を包括的にとらえるケアの実践を「よろうち」検討することで、「地域で安心して暮らし続けられる」具体的な地域福祉のあり方を探り、【中津市の目指す「福祉の里」＝中津方式の地域福祉】を発信することを目的としています。



7/30(土) 10:30~12:00 セミナーイベント

「災害時における包括的ケア」災害時の連携から日常の連携について

全国コミュニティライフサポートセンター（CLC）ではいち早く「東北関東大震災・共同支援ネットワーク」を立ち上げ、看護師や介護士の被災地派遣や物資支援を行うとともに、仙台市青葉区国見地及びその周辺を対象に、配食、お米や紙おむつ、絵本の無料宅配、買い物代行、お風呂ツアーの実施、家に住むことのできない方の一時避難のための部屋提供、家の片付け、安否確認と話し相手などの活動を実施しています。今後、仮設住宅での暮らしや復興していく地域での支え合いを支援する取り組みのモデル事業と位置づけて実施するなかで、気づかされる地域との連携のあり方を語ります。

講師 全国コミュニティライフサポートセンター（CLC） 理事長 池田昌弘

7/30(土) …… 1日目『一人ひとりの生活を支える地域包括ケアのススメ』

時間	内容
13:00~13:30	<p>オープニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中津市の紹介 ・開会挨拶 中津発地域福祉セミナー実行委員会 ・来賓挨拶 中津市 <p>実行委員長 大霜正光 市長 新貝正勝</p>

ボランティアグループ沖代すずめ

地域のボランティア活動から始まった「沖代すずめ」は、地域の寄り合い所「すずめの家」を拠点に、さまざまな活動を展開。ほかの団体も巻き込んだ地域のネットワークを生み出し、専門職との協働も実現しています。



ホームページ

<http://www8.ocn.ne.jp/~penguin6/>

時間	内容																					
13:30~14:45	<p>基調講演</p> <p>「地域でケアするということ」</p> <p>高齢、障がい、子ども・子育てなど、地域の福祉課題について具体的なイメージを参加者全員で共有し、課題を解決していくために、地域福祉・地域包括ケアについて講演いただきます。</p> <p>●講師 東京大学 名誉教授 大森 彌 (厚生労働省社会保障審議会会長)</p>																					
14:45~15:15	<p>DVD上映</p> <p>『地域共同ケアのすすめ』</p> <p>「住み慣れた地域で、その人らしく、最期まで暮らし続ける」ために、地域の支え合い活動や介護保険サービス、制度外サービスなどが連携して一人の人を支える先進的な取り組みを紹介します。</p>																					
15:30~17:30	<p>パネルディスカッション</p> <p>「誰もが24時間365日安心して暮らせるための包括的ケアとは？」</p> <p>子どもからお年寄りまで、誰もが住みなれた地域で安心して暮らすための「包括的ケア」には、さまざまな人や機関の協力が必要です。高齢者・障がい者・子どもに対する包括的ケアを実践している中津市の事例と、市外・県外の事例をもとに、大切な地域社会の資源となる包括的ケアに必要なことは何なのかを協議し、さらなる課題を明確にします。</p> <p>●パネラー</p> <table border="0"> <tr> <td>沖代すずめ(大分県中津市)</td> <td>代表</td> <td>吉田 日出子</td> </tr> <tr> <td>介護保険総合ケアセンターいずみの園(大分県中津市)</td> <td>ケアマネジャー</td> <td>東 久美</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人ほっとスマイル(兵庫県西宮市)</td> <td>理事長</td> <td>赤石 貞子</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人拓く(福岡県久留米市)</td> <td>常務理事</td> <td>馬場 篤子</td> </tr> </table> <p>●サポーター</p> <table border="0"> <tr> <td>高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ(長野県上田市)</td> <td>常務理事</td> <td>宮島 渡</td> </tr> <tr> <td>厚生労働省老健局介護保険指導室</td> <td>室長</td> <td>千田 透</td> </tr> </table> <p>●コーディネーター</p> <table border="0"> <tr> <td>神戸学院大学総合リハビリテーション学部</td> <td>教授</td> <td>藤井 博志</td> </tr> </table>	沖代すずめ(大分県中津市)	代表	吉田 日出子	介護保険総合ケアセンターいずみの園(大分県中津市)	ケアマネジャー	東 久美	社会福祉法人ほっとスマイル(兵庫県西宮市)	理事長	赤石 貞子	社会福祉法人拓く(福岡県久留米市)	常務理事	馬場 篤子	高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ(長野県上田市)	常務理事	宮島 渡	厚生労働省老健局介護保険指導室	室長	千田 透	神戸学院大学総合リハビリテーション学部	教授	藤井 博志
沖代すずめ(大分県中津市)	代表	吉田 日出子																				
介護保険総合ケアセンターいずみの園(大分県中津市)	ケアマネジャー	東 久美																				
社会福祉法人ほっとスマイル(兵庫県西宮市)	理事長	赤石 貞子																				
社会福祉法人拓く(福岡県久留米市)	常務理事	馬場 篤子																				
高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ(長野県上田市)	常務理事	宮島 渡																				
厚生労働省老健局介護保険指導室	室長	千田 透																				
神戸学院大学総合リハビリテーション学部	教授	藤井 博志																				
18:30~20:30	<p>交流会</p>																					

社会福祉法人九州キリスト教社会福祉事業団 介護保険総合ケアセンターいずみの園

いずみの園では「アメニティ(快適サービス)」「ヒューマニティ(人間中心)」「ローカルティ(地域密着)」を大きなコンセプトとし、高齢者・児童・障がい者の福祉サービスを提供しています。その中でも「ローカルティ」は「地域と共に歩み、地域の福祉拠点としての役割を果たす」ことをミッションに、住民や各機関との協働へ取り組んでいます。年を重ねても、障がいがあっても、その人らしい“生涯安心”の生活を支えられるよう、24時間365日のケアシステム構築を目指しています。



社会福祉法人ほっとスマイル

子育て世代が住むニュータウンで兵庫県西宮市社会福祉協議会東山台分区(地区社協)は保育所づくりに取り組みました。保育所の設立に向けて、市民協働参画プログラム「まちづくり工房」の準備など、公民協働のプロセスを経て、2005年に住民立の保育園の開設に至りました。

出合いの場ポレポレ

2001年9月、知的障がい者の授産施設としてスタート。レスパイトケアやグループホームなど、障がい者の暮らしの場をつくってきました。2007年には多機能型事業所となり、障害があっても地域のなかで普通に暮らし、多くの人と出会えるようにと、みんなで力を合わせて活動しています。

時間	内容
9:00~10:45	<p>第1分科会 ■会場/教育福祉センター</p> <p>「認知症とともに暮らす～その人自身の可能性～」</p> <p>認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、医療・介護の公的サービスによる支援だけでなく、その人が暮らす「地域」の中での見守りや声かけなどの助け合いを欠かすことができません。この分科会では地域・医療・介護事業所の立場から、地域で認知症の方を支える意味を考えます。</p> <p>●発表者 古田のおうち(広島県広島市) 代表 竹中庸子 白川病院医療連携室(福岡県大牟田市) 室長 猿渡進平 (NPO法人しらかわの会事務局) 悠久の里デイサービス(大分県中津市) 主任 酒井久美子</p> <p>●サポーター 介護保険総合ケアセンターいずみの園(大分県中津市) 特養事業部長 岩崎深雪</p> <p>●コーディネーター 大分大学教育福祉科学部 教授 衣笠一茂</p>
	<p>第2分科会 ■会場/教育福祉センター</p> <p>「地域包括ケアシステムの取り組み」</p> <p>第5期介護保険事業計画の中心的取り組みとなる「地域包括ケアシステム」とは何か。日常生活の圏域の中で、高齢者が安心して生活が営めるために医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される包括的、継続的システムづくり、中でも24時間対応の定期巡回・随時対応型ホームヘルパー、小規模多機能居宅介護事業の実例を先進事例から学びます。</p> <p>●発表者 介護老人保健施設サクラ(長崎県佐世保市) 副施設長 土井直子 介護保険総合ケアセンターいずみの園(大分県中津市) 在宅事業部長 熊井カホル</p> <p>●コーディネーター 高齢者総合ケアセンターこぶし園(新潟県長岡市) 総合施設長 小山剛</p>

時間	内容
9:00~10:45	<p>第3分科会 ■会場/グランプラザ中津</p> <p>「一人ひとりを見逃さない地域づくり」</p> <p>一人暮らしの高齢者などが、住み慣れた地域で安心・継続して生活できる地域づくりを行なうことを目的に、全国58市町村がモデルとなって進められている厚生労働省の「安心生活創造事業」。市町村ごとに展開されているいろいろな事例を紹介しします。</p> <p>●発表者 安芸高田市福祉保健部(広島県) 高齢者福祉課長 岩崎 猛 安芸高田市社会福祉協議会(広島県) 地域福祉課長 高橋 義照 氷見市社会福祉協議会地域福祉部(富山県) 部長 森脇 俊二 福祉の郷・いまづ(大分県中津市) 井上 玲吉 源流の郷やまくに福祉の会(大分県中津市) 水谷 トシエ</p> <p>●サポーター 全国社会福祉協議会地域福祉部 部長 野崎 吉康 中津市社会福祉課福祉推進係 係長 末廣 尚美</p> <p>●コーディネーター 大分県福祉保健部 部長 永松 悟</p>
	<p>第4分科会 ■会場/文化会館1F小ホール</p> <p>「子育て地域は“大きな家族”」</p> <p>共働きや核家族化の進行とともに、家庭での養育能力が弱まってきています。家庭での家族力を支援するために、地域でのさまざまな取り組みや、専門機関・行政の連携による、気になる子ども・保護者への支援をとらして、子どもたちと家族の健全育成を考えます。</p> <p>●発表者 湘南学園(滋賀県大津市) 専務理事 塚本 秀一 山東子育て応援団(熊本県熊本市) 代表 村上 千幸 (山東保育園園長) 児童家庭支援センター 和(大分県中津市) 古屋 康博</p> <p>●サポーター 井上小児科(大分県中津市) 院長 井上 登生 (地域子育て支援センター「木もれび」)</p> <p>●コーディネーター 東九州短期大学幼児教育学科 教授 松田 順子 (中津市愛育研究センター所長)</p>

古田のおうち

認知症高齢者のグループホームに、住民の交流スペースや乳幼児の遊び場を備えています。平屋の空き倉庫を改修して、認知症高齢者の居室9室に加え、多世代交流を楽しめる場所にしたいと設けた交流スペースがあります。建物の一角には地元の広島市古田学区社会福祉協議会の事務局が置かれ、施設が「福祉のまちづくりの拠点に」なるようにと取り組んでいます。

しらかわの会

「住み慣れた地域で、仲間みんなでいつまでも生きがいをもって住み残れる地域」を合い言葉に、サロンを福岡県大牟田市の白川校区の各所に開設。みんなの居場所として活用するとともに、徘徊模擬訓練や医療機関との連携など、自分たちの暮らしを自分たちで支えるために、福祉にとどまらない多様な活動に取り組んでいます。



安芸高田市

広島県北部に位置する安芸高田市では、生活・介護サポーター養成講座を受講した市民を中心に、地域支援活動を展開しています。



氷見市

富山県西部に位置する氷見市では、地区社協を基盤に、住民主体によるふれあい型の地域福祉活動と個別課題に対して見守り・声かけを中心としたケアネット活動を行い、その延長として、買い物・外出支援などの生活に密着したサービスを展開しています。



悠久の里 認知症対応型通所介護

認知症の方の尊厳を守り、日々のふれあいを大切に。ご利用者の「〇〇したい」のご希望にお応えしようと、ふるさと訪問や、四季を感じていただく活動に取り組んでいます。日々の活動では、作品づくりや体操、読み書き計算、地域の方々との交流などとおして、ふれあいを大切に過ごしています。



老人保健施設サクラ

長崎県佐世保市で、認知症や疾病などにより要支援・要介護状態になったお年寄りの方に、在宅から施設まで多種多様なサービスを提供しています。24時間365日利用できる夜間対応型訪問介護サービスにも取り組み、在宅生活の支援にも積極的に取り組んでいます。

福祉の郷「いまづ」

中津市の今津小学校区内の地域福祉ネットワーク協議会。22年度には県・市・消防などと協力し、校区レベルで災害シミュレーションを行うなど、災害時に支援が必要な方の避難支援と、日頃の見守り体制の充実に向けて、防災をテーマとした地域づくり活動を進めています。



“源流の郷”やまくに福祉の会

中津市山国地区の地域福祉ネットワーク協議会。地区内の全戸アンケート調査や高齢者世帯への訪問聞き取り調査により地域課題を集約し、住民による参加しやすい場・機会づくり=「寄り合いの場づくり」を中心に、それを活かした買い物支援、移動支援にも幅を広げて協議中です。



